

「医師の働き方改革」、スタート。
医師の長時間労働改善に向けた取組にご協力下さい。

2024年4月より、
勤務医の残業時間に上限が設けられます。
みなさまのご理解、ご協力
をお願いいたします。

「医師の働き方改革」とは

医師の長時間労働によって支えられてきた日本の医療の現状を“改革”し、医師が健康に働き続けられる環境を整備することで、医療の質・安全を確保すると同時に、持続可能な医療提供体制を維持していくための取組の総称です。こうした取組の1つとして、2024年4月から残業時間の上限に関する制度が始まります。

医師の勤務実態について
(2019年)

約**40%**の医師が
月**80時間以上**の
残業



患者さんやご家族のみなさまに ご理解、ご協力していただきたいこと

1. 診療時間内の受診にご協力をお願いします。

患者さんやご家族への病状説明を診療時間内に実施することや、外来診療の受付時間を短縮するといった取組も始まっています。

日頃から決められた診療時間内での受診にご協力ください。特に、病状、検査、手術の説明を受けるといった場合は一層のご協力をお願いします。



2. “いつもの先生”以外の医療スタッフの対応にご理解をお願いします。

タスク・シフト/シェア

- 医師の担っていた業務のうち、一部を他の医療スタッフに任せたり(シフト)、分担(シェア)するといった取組も始まっています。
- 例えば、患者さんへの疾患の説明、検査、病棟における服薬指導、医師の指示に基づく治療対応や術後の管理などについて、医師以外の様々な医療スタッフが担うことがあります。



複数主治医制

- 患者さんの治療を行う医師がチームを組み、1人の患者さんに複数の主治医が対応するといった取組も始まっています。
- この場合、例えば、担当する患者さんへの対応を複数の主治医が時間帯によって分担することがあります。

